

新年度第1号のまちづくり瓦版は、二本松市の景観まちづくりの表彰とまちづくりに関する説明会などをご紹介します。

まちづくり
トップニュース

「二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区」が 景観に関する賞をダブル受賞しました！



「二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区」が、「都市景観の日」実行委員会が主催する都市景観大賞の【都市空間部門】の優秀賞を受賞しました。また日本都市計画学会の学会賞の設計計画賞を受賞し、ダブル受賞となりました。

竹田根崎竹根通り沿道地区の景観まちづくりは、都市計画道路「若宮野辺線」の拡幅整備計画を契機として発足した「竹田根崎まちづくり振興会議」が中心となり、大学、行政の支援のもと、民間まちづくり活動と連携して17年に渡り行われてきました。約9ヘクタールからなる同地区は、行政が行う街路事業と一体になり、住民参加型により整備した「地域の方々と、ともに考え、ともにつくった」地域であり、まちの復興と暮らしの再生の希望を示す活動が評価されました。

※都市景観大賞は、国土交通省の推進する「良好な景観形成の動きを国民運動として全国展開していくための普及啓発活動」の一環として、平成3年度から毎年開催されています。今回受賞された【都市空間部門】は公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象としています。

※日本都市計画学会の設計計画賞は、都市計画に関する計画、設計、事業などに関する近年の作品のうち都市計画の進歩、発展に顕著な貢献をしたものを対象としています。

まちづくりに関する説明会の開催について

平成 27 年 6 月 2 日、福島テルサにおいて、国土交通省東北地方整備局主催の「平成 27 年度まちづくり・住まいづくり事業出張相談会」と福島県主催の「平成 27 年度都市関係主管課長会議」が行われました。

■平成 27 年度まちづくり・住まいづくり事業出張相談会



国土交通省東北地方整備局による「平成 27 年度まちづくり・住まいづくり事業出張相談会」が開催され、65名の方が参加しました。

県及び市町村を対象に、都市事業・住宅事業の効果的な活用の推進を目的として開催され、「社会資本整備総合交付金」など、まちづくりに関する交付金事業の制度説明や事例紹介が行われました。

午後には、東北地方整備局の担当者とし、各市町村の個別相談会が実施されました。

「まちづくり・住まいづくり事業出張相談会」は、毎年、東北地方整備局が各県に出張して開催するものであり、まちづくりに関する国の予算や事業制度についての詳しい説明がある重要な会議です。各市町村で担当されている方は、この相談会を活用し、ぜひ参加してください。

■平成 27 年度都市関係主管課長会議



福島県は同日、「平成 27 年度都市関係主管課長会議」を開催し、県及び市町村から 77 名の方にご参加いただきました。

杉明彦 土木部次長（都市担当）の挨拶のあと、都市再生特別措置法改正後の「コンパクトシティ+ネットワーク」に向けた取組など、都市計画課、まちづくり推進課、下水道課のそれぞれの担当者が、都市計画やまちづくりに関連する情報の提供を行いました。

平成27年度の地域づくりについて

福島県土木部では、地域の方々が主体となった地域づくりを支援するため、



- 「①地域資源の活用」
- 「②交流人口の拡大」
- 「③うつくしいふくしまの継承」
- 「④歩いて暮らせるまちづくり」
- 「⑤浜通り沿岸部の復興支援（復興まちづくりとの連携）」
- 「⑥風評被害払拭に向けた観光振興支援」

の6つの視点で取り組んでおります。

平成27年度は、以下の6つの事業を実施し、地域自らのまちづくり・地域づくりを支援しております。

○まちづくり支援事業（新規）

地域が主体となった各種計画策定の支援及び県・市町村・地域が連携した路地整備や修景整備の支援をします。まちづくりを進める上での地域の活性化に是非ご活用下さい！

(1) 計画策定	(2) 施設等整備
<p>市町村が策定する「歴史的風致維持向上計画」及び「景観計画」の策定を支援します。 また、県は地域住民や市町村とともに「地域づくり計画」策定を行います。</p>  <p>ワークショップの様子</p>	<p>地域づくり計画に基づき、県と市町村、住民が連携してポケットパークや路地の整備、花や緑での修景整備を行い、面的な魅力向上を図ります。</p>  <p>ポケットパーク整備 (県、市町村)</p> <p>路地整備 (市町村)</p> <p>花・緑の整備 (住民)</p>

○元気ふくしま、地域づくり・交流支援事業

地域住民や地域づくり団体が主体となり、風土や観光資源などの地域資源を活用した地域づくりを、公共施設整備等を通じてハード・ソフト両面から支援します。



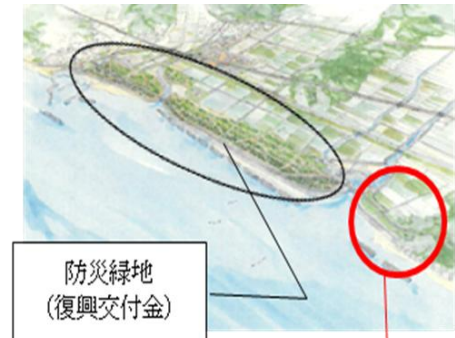
○ふるさと帰還環境づくり事業

広野町浅見川において帰還支援の環境づくりとして、住民が憩い・集える親水施設を整備します。



○ふるさと再生環境整備事業

新地町埴浜地区において、地域住民とのワークショップの意見を踏まえ、防災緑地と歩道を合わせて展望緑地を整備します。



○小名浜の新たな魅力創造事業

港と市街地の一体的なまちづくりに向け、回遊や交通誘導の方法を検証するための社会実験等を行います。



○ふくしまからはじめよう。子ども未来創造まちづくり事業

高校生等が地域に愛着を持ち、将来にわたって継続的に本県復興の担い手になるよう、地域の宝の発見やまちづくりについて考えるワークショップやフォーラムの開催等を支援します。



土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】



をお書きのうえ下記アドレスまで

メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp